

# 第54回物性若手夏の学校テキスト正誤表

## 「中性子散乱の最前線」－結晶PDF解析を中心として－

	誤	正
P80, L3	歴史的な一歩	歴史的な一歩
P80, L13	(James Chadwick) 英国	(James Chadwick、英国)
P80, L15	(Bertram N. Brockhouse) カナダ	(Bertram N. Brockhouse、カナダ)
P80, L16	(Clifford G. Shull) 米国	(Clifford G. Shull、米国)
P80, L28	減速材と呼ばれる減速材を	減速材と呼ばれる水や液体水素などを
P81, L20	さらに中性子が散乱されるのは、ほとんど広がりの無い原子核であることから、中性子では	さらに中性子では
P83		図1、差し替え
P86, 式(22)	$S_{\epsilon\beta}(q, \omega) = -2\hbar(1 + n(\omega))\chi''_{\alpha\beta}(q, \omega)$	$S_{\alpha\beta}(q, \omega) = \frac{\hbar}{\pi}(1 + n(\omega))\chi''_{\alpha\beta}(q, \omega)$
P94, L4	Γ点で幅が	Γ点でエネルギー幅が
P95, L2	改めて考えて見ると	改めて考えると
P96, L3	(侵入型元素とも言えるが)	(侵入型元素とも言える)
P99, L14	まず原子間距離 r (一次元) で	まず原子間距離 r で